

関係各位

株式会社 山喜農園
新潟県魚沼市原1280-1
TEL. 025-794-2455
FAX. 794-4168
E-mail: info@yamaki-noen.co.jp
HP Address: http://www.yamaki-noen.co.jp

球根情勢報告

2018年12月期オランダ出張報告

及び18年産オランダ産フランス産在庫表送付にあたり

平素よりお引き立ていただき誠にありがとうございます。
12月9日～12月16日までオランダに出張してまいりました。
例年より5日くらい遅らせての出張となりました。

輸出業社作業状況の確認・球根農家作業状況の確認を主力とした視察としております。

12月第1週末から第2週にかけて（ちょうど私たちが確認作業に入った週）、遅れていた球根農家から輸出業社への納品作業が一斉に増加してくるタイミングでした。

従って、輸出業社は、この忙しいタイミングに私たちを案内しなければならず、かなり小言をいただくこととなりました。

例年の視察訪問時と比べても、不機嫌な仕入れ担当・営業担当が多かったように思います。恐縮してしまいました。

既に11月末在庫表を発行した際にも作況・市場状況をお繋ぎしていましたが、今回も同じような方法で情勢をお繋ぎいたします。

10月期視察時に懸念していたことが現実となって確認され始めています。

A. H/L. A

未販売在庫は、小球を中心に少なく（12/14・14/16が少ない）、16/18サイズ以上が多くなっている様です。
全体的に肥大傾向だったとの報告でしたが、新たに再確認されたことは単位面積当たりの収穫球数が予想数より5～10%くらい収量減となっている事が大きく影響している様です。

16/18サイズ以上の球根を消費するベトナム・アラブ諸国市場が、経済上・政治上の理由でその消費量を激減させている為、結果的に16/18サイズ以上に余裕が出たという事の様です。

12月第1週末に「ナシュビル」が数百万球単位の欠品との情報が入り（根盤の傷み）、過剰気味だと思っていた黄色A. H/L. Aがいきなり緊張感のある在庫数にまで減少したとの事です。

A. H/L. A球根市場は、「しまった相場形成」を示すことになる様です。

O. H/O. T

最近ではオランダ出張中でも「Face Book」上に作況についてのコメントを書いたり、少なくとも「Line」にて取引先・関係者に速報をお繋ぎしておりましたが、今回出張時にはそれを控えました。

控えたというより、出来なかったという方が正しいかもしれません。

2018年産オランダ産農作物は、その異常気象による影響を大きく受けてしまいました。

砂糖大根・じゃがいも・とうもろこし・麦・玉ねぎ・チューリップなどでは25～45%（平均値）の収量減少となっている品目があると報告されていますが、百合とアスパラだけは比較的その影響から逃げきれたものと想像していました。現実にはアスパラ（ホワイトアスパラ）の収量は、悪くなかったのですが…。（アスパラの収穫は5月/6月期）

O. H/O. Tは、視察をしてきた後でも全体傾向を整理する事は、全くできませんでした。

- 1)肥大している。下根がしっかりしている。
 - 2)肥大している。下根が少ない。(下根が数本しかない。)
 - 3)肥大している。下根が少なく(下根がない)、根盤が傷んでいる。
 - 4)肥大していない。下根がしっかりしている。
 - 5)肥大していない。下根が少ない。(下根が数本しかない。)
 - 6)肥大していない。下根が少なく(下根がない)、根盤が傷んでいる。
 - 7)高いウイルス、罹病が懸念されている。
 - 8)単位面積当たりの収量が落ちている品種が多数確認されてきている。
 - 9)心配していた通り、芽は異常に大きく、さらに太い。(同一時期の津南産の芽の大きさに匹敵している。)
 - 10)12月中旬以降、待ちきれずに冷蔵庫設定温度をマウス0.5~マウス1℃に下げ始めている。
- 芽形成が大きくても、休眠は破れていないはず。糖度が高いのはフランス産なみの高温だったからなのに…。
- でも、輸出業社・球根農家の立場に立てば、芽が大き過ぎて心配になるのも事実なのです。(長期冷蔵事故を防ぎたい。)

作況については、

豊作型、平年型、不作型など、全体傾向を示すことができません。

18年産は、全体傾向を示すことができない、そのことが18年産の傾向と言えそうです。

- 1)力が強くて素晴らしい球根が確保できる可能性があります。
- 2)低温積算不足の球根が流通する可能性があります。
- 3)根盤腐敗が気になる年となる様です。
- 4)フランス産・新潟県産遅掘球並みに、芽が大きいことが、切花生産上素晴らしい結果を生み出す可能性を秘めている。
- 5)一方、超長期冷蔵についてはオランダ産でも凍害リスクが高まるかもしれません。
- 6)2N球の使い方をしっかり再確認してください。

以上考えられることをまとめました。

最低でも、上記に示したことを意識しながら発注確保済の球根だけでなく、今後発生する欠品に対し対応策もしっかり検討しながら確保作業をすすめていく所存です。

「品種」も大切ですが、「球根品質」が問われる年となるのではないのでしょうか?国際球根消費市場の混乱は、まだ完全に是正されていません。球根価格は、低めのままに推移しそうな状況です。

既にアクティバ・メデューサ・カサブランカ・サレンダー・ビナスコ・ミステロ・クロッサー・モンサノ等の欠品・追加、両方の結果報告が入り始めています。

今後オランダ産ピンクオリエンタル系、一部白オリエンタル系で欠品が発生する予定です。(バンドーム・オバダ・ホメロス・シイラ・バリスタ・エマニー・シスト・カステラーニ etc.)

その後フランス産作況報告が入ってまいります。

オランダ産では、重要度の高い、比較的流通数が少ない、限定的な作型に使用されることがわかっている品種、そういった品種群が高い割合の欠品対象品種になると考えられます。

準備の程よろしくお願いたします。

すみません。

今回はこれ以上書けません。

随時、品種ごとに情勢をお繋ぎしてまいります。よろしくお願いたします。

不明な点等ございましたら、お問い合わせください。